



市史へんさん



8月に入り、猛暑日が続きます。7月には、台風が3つ同時に発生し、20日には、小松市で最高気温が37.3度となって、全国で一番暑い日となりました。21日に北陸地方の梅雨明けが発表されましたが、連日35度を超える天気には体調も崩しがちです。暑さの中での市史講座となりますが、頭の中にもいっぱい栄養を与えて、歴史力をどんどんアップさせましょう!!

今！ 加賀三湖が注目されています!!

今年は木場潟で植樹祭が行われ、大変賑わいましたが、市史調査においても、近世村方、産業、建築の分野で、村御印、加賀三湖干拓、公園整備等の関係資料で注目しています。

「加賀三湖」とは、「木場潟」、「今江潟」、「柴山潟」の3つの潟湖を指し、古代から中世にかけて陸運と平行して、物流の役割を担っていました。近世になると、ますます物資の交流が盛んになり、利用する舟運も発達し、舟は、潟周辺の村々では生活になくてはならないものになりました。舟は、「川舟」と言われ、明治期には、片山津温泉の元湯を満杯に積んで小松の九龍橋川を上り、西町にあった銭湯へ運んでいた「湯舟」や、昭和初期まで、安宅方面への小学生の遠足やお旅祭り、報恩講に出掛ける人々を乗せた「貸切り舟」がありました。また、「屋形舟」、「渡舟」などの風流を楽しむための舟も往来していました。

潟の縁には、マコモ、ヨシなどのイネ科植物やガマなどの多年草が密生しており、そのところは「葭場(ヨシバ)」と呼ばれこの周辺の村々には、「葭役」という税(小物成)が課せられていました。その他にも「湖役」、「板舟權役」など潟特有の税がありました。

加賀三湖の内で今江潟は、唯一湖水に塩分を含み、木場潟や柴山潟には生息しない魚類が見られました。また、季節によって飛来する鳥も多く、渡り鳥が大群でやって来ました。

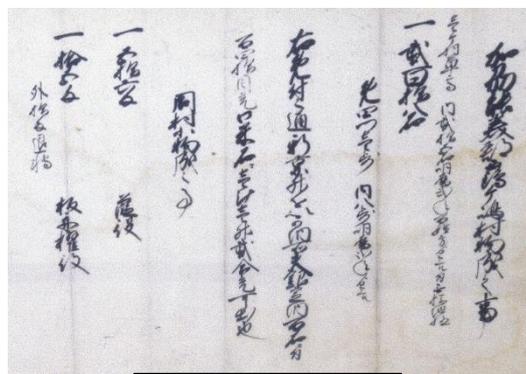
三湖の水は、全て梯川を通じて日本海へ流出しており、増水によって、梯川下流の水位が上昇することで、三湖の水位も上昇し、潟沿岸の水田が水没する被害や、潟水期には、海水逆流による塩害が生じていました。冬季には、梯川河口が砂礫で閉塞し、水が三湖へ逆流し水害が発生していました。



今江潟のかつての風景

昭和27年から44年にかけて、加賀三湖干拓事業により今江潟の全部と柴山潟の3分の2が干拓され、農地になりました。木場潟は、用水源や洪水調整池としての役割を期待されたため、干拓は行われず、そのまま残すこととなりました。今では、県内唯一、当時の姿で残されている潟となっています。

この木場潟から望む白山の眺望は絶景で、木場潟公園として、県民に親しまれ、多くの散策者で賑わっています。公園としての木場潟の姿は、「建築編」で紹介されます。



鶴ヶ島村村御印(一部)

部会報告

【近世村方部会】

発刊に向けて、原稿の執筆が完成に近づき、口絵やDVDに収録される史料の撮影に奔走しています。色彩豊かな絵図面資料が多くあり、「村方編」の中で紹介する予定です。

【産業部会】

内水面の資料として加賀三湖干拓事業関係資料を紐解き調査。

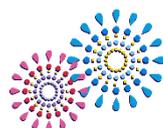
繊維関係では、今江町の方より大正末期頃の大福帳を提供頂き、顧客名から、地元の他、北海道、大阪、島根、広島など、かなりの遠隔地まで、事業を展開しているのを知る得ることができました。

DVD用の資料撮影も実施中。



<事務局7月の活動状況>

- 7月2日(木) 教育部会
- 7月3・10・17日(金) 町家実測調査
- 7月3日(金) 憩いの森緑地公園調査
- 7月9日(木) 建築部会
- 7月11日(土) 正田順太郎辞令撮影
- 7月11日(土) 尾小屋鉦山資料館調査・撮影
- 7月24日(金) 葭島神社本殿実測
- 7月24日(金) 菟橋神社棟札調査
- 7月31日(金) 古民家実測調査



<8月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。



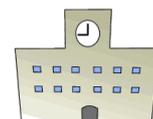
【建築部会】

寺社・町屋・平野部古民家(農家)の実測調査、古庭園・公園調査を実施中。今年度の7月までの町家調査を簡単にまとめ、大川町の柴田家が橋北の大火を受けず、町家としては一番古いことが判明。その他、龍助町の町家では、吹き抜けをチャノマの部屋境とずらして設けるといった特徴的なつくりが見られ、ブツマとザシキを一室化し、オクノマとする傾向も見受けられました。

【教育部会】

今年度より教育部会が発足、以下の方が専門委員として委嘱されました。すでに2回の部会が開催され、只今目次案を検討中です。目次とその担当者が決定すればよいよ調査開始です。また、市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

専門委員：清水郁夫・池田仁子・金戸隆幸・
橋本 浩・橋本正準・山前圭佑



<事務局8月の活動予定>

- 8月2日(日) 第68回市史講座
- 8月7日(金) 近世村方部会
- 8月11日(火) 古民家・農家実測調査
- 8月13日(木) 絵図面資料他撮影
- 8月26日(水) 教育部会
- 8月27日(木) 産業部会

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

- 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>